

空き家相談会アンケート結果

1 相談者の年齢

- ・空き家を相続する年齢層が40代～70代以上と幅広い年齢層であった。
- ・一番若い年齢層は、40歳代であった。

2-1 相談対象の建物の利用状況

(1) 利用状況

- ・相談者が管理しているものがある一方で、そのまま放置しているものもあった。
- ・現在、相談者や親族が居住しているが、今後空き家となる可能性がある建物についての相談もあった。

(2) 利用頻度

- ・3ヵ月に1回利用している方がいた。
- ・どの程度の頻度で利用しているのかを把握していない方もいた。

3 相談会に参加した理由

- ・相談会に参加する理由として最も多かったのは、「建物の劣化」や「維持管理が負担」であった。
- ・「建物の処分等が進まない」との理由で、相談会に参加された方も多かった。
- ・「建物の劣化」や「維持管理が負担」と回答した方で、「建物の処分等が進まない」と考えている方もいた。

4 相談会を知ったきっかけ

- ・広報とくしまから知った方が多かった。

5 相談会の内容について

- ・相談会の内容について、相談者の反応は概ね好評であった。
- ・「不満」や「大変不満」との回答はなかった。

6 相談会の時間（30分）について

- ・「普通」との回答が多かった。

- ・その一方で、「やや短い」との回答もあった。

7 相談会を受けての今後について

- ・この相談会を受けて、「まずは親族と話したい」や「空き家を利活用したい」など、相談者が具体的に何らかの行動を起こしたいとの考えを示した。

以上